

TEIKYO UNIVERSITY  
2015 SPORTS OFFICIAL  
YEAR BOOK



TEIKYO UNIVERSITY SPORTS OFFICIAL YEARBOOK 2015 EKIDEN

学校法人帝京大学 理事長  
帝京大学 学長  
冲永 佳史

今シーズンも本学駅伝競走部は、春から順調なスタートを切っております。

恒例の「日本学生ハーフマラソン選手権大会」においては、1000名を超す学生トップランナーが集う中、キャプテンの高橋裕太選手が本学の歴代最高タイムを樹立し3位入賞し、内田直斗選手も帝京記録で5位入賞を果たしました。高橋選手はその後、日本代表として「ユニバーシアード競技大会」にも出場しました。さらには続いて開催された「全日本大学駅伝予選会」においても、各選手が好成績を残し大きな希望をもたらしてくれました。

今後はチーム最大の目標である「箱根駅伝」予選会に、全力で臨むこととなりますが、本大会への出場権獲得はもろんのこと、「箱根駅伝」本番において「赤い旋風」を巻き起こす礎を築いてもらえれば幸いです。今年度も本学駅伝競走部へのよりいっそうの御支援の程、宜しく御願ひ申し上げます。

帝京大学 八王子キャンパス事務長  
強化クラブ室 室長

### 古張 隆

昨シーズン、4月に行われた「日本体育大学長距離競技会」にて熊崎健人選手が1500mで日本選手権A標準を突破、5000mでは帝京記録を更新。それに続き、多くの部員が各大会で自己ベストを更新し、いい状態でトラックシーズンのスタートを切りました。

しかし、1月に行われた「箱根駅伝」では往路第16位、復路第9位の総合11位となり、わずかにシード権獲得に届かず大変悔しい結果となりましたが、9区を走った3年の高橋裕太選手、10区の堤悠生選手が帝京記録を更新する力走をみせるなど、収穫も多いレースだったように思います。

今後は「箱根駅伝」の予選会に挑むこととなりますが、今年のチームは主将の高橋裕太選手をはじめ、楽しみな選手が多数在籍しております。「箱根駅伝」本大会出場権獲得はもちろん、本番での選手たちの躍進を祈念し、イヤープックの挨拶とさせていただきます。

帝京大学 八王子キャンパス  
学生サポートセンター・グループリーダー  
強化クラブ室 副室長

### 山崎 正

第91回箱根駅伝では、本学駅伝競走部が目標とした3年連続シード権の獲得を逃した。第11位の順位であったが、第10位校とは「2分15秒」という大きなタイム差、距離では前を走る選手の姿が見えないほど離された。箱根駅伝では毎回熾烈な競争が繰り広げられ、応援する人はさまざまな感動の場面に一喜一憂する大会でもあります。力走した本学の選手は、改めて勝負の世界の厳しさを痛感したと思います。

同大会の優勝校監督インタビューで「箱根駅伝は平地ではないので、部員には1年間クロスカントリーの練習をさせた。その成果があったと思う」という秘策コメントがありました。新しい陸上競技場も間もなく完成します。思う存分に練習できる環境が整います。「来年こそベンジ」との強い決意で、まず箱根駅伝予選会で出場権獲得を第一目標に、つぎに本戦でシード圏内入りをめざす。箱根では選手の世界に挑む走力が求められます。練習に秘策を練り、本番で疾走する代表10人の勇姿を期待します。

帝京大学駅伝競走部  
イヤープック発刊に寄せて



監督は「演出家」  
のようなもの

団体競技において、チームカラーという表現はつきものだ。チーム全員が、同じ方向を向くための道しるべとなるもの、あるいはチームを統制するための監督の方針や信念――。

「うちはチームカラーがないのがチームカラーだし、監督の信念がないのが信念なんです」と、中野は言う。

入部してくる部員に、求めるものはない。十人十色、一人として同じ人間はおらず、それぞれ自分のカラーを持っている。彼らがその人となりやパフォーマンスを監督の前で発色、さえしてくれば、チームが虹色になるのが、何色に染まるのがそれで良い。

中野の考える監督業は、「演出家」のようなもの。ただし、演劇には台本があるが、競技には台本がない。その中で、選手がどんな脚本を作り、どんな演技ができるか。選手個々の持つ特長を探し出し、最高の舞台を演出してやるのが、中野の役割だと考えている。つまり、「選手が」伸びる帝京」の秘密は監督でなく、監督の演出によって伸びた選手たち自身、というわけだ。

「ただ、私が他の指導者と同じ目線でないことは確かです。誰もが見ていいところだけでなく、人とは違うところを見て活かしてあげようと思っています。例えば同じ赤飯を作るにしても、一般的な赤飯は味のついていない小豆を入れる。北海道では、甘納豆を入れるんです。それもまたうまし、なんです。箱根駅伝をめざす他校と同じ

チームにする必要もないし、逆に同じチームはあり得ないと思っています」

一人としてパーフェクトな人間はいないが、誰もが必ず光るものを持っている。しかし自分がやりたいこと、得意だと思っていること、実際に力を発揮できることは、必ずしも同じとは限らない。自分で苦手だと思いついていても、他者より抜きん出て優れていることさえある。それは、社会に出ても同じだ。だから嫌なこと、苦手なことに挑戦するもひとつの手法。トレーニングにしても日常の心がけにしても、他大学がやっていないような手法を試みて、強豪のレベルにも近づくことができる。これぞ、中野自身感銘を受けているという、帝京大学の教育理念『自分流』。既成概念にとらわれず、選手たちの個性を最大限に活かし、彼らの持つ可能性を広げていく。

負けない選手を  
育てるために

今や箱根駅伝は、新年の国民的行事ともいえる一大イベントに成長した。誰もが箱根を夢見、駅伝競走部へ入部する。「やはり箱根を走るか走らないか。1回でもいいから箱根を走りたい、という選手ばかりです。1回でも走れば、大げさに言うとなんか変わるかもしれない。それぐらい



取材文 | 前田 恵

● 駅伝競走部監督 中野孝行

「自分流に伸びる」



の価値があります。私は4回走りましたけど、じゃあどう変わるの?と聞かれても、私もまだ現役のつもりですので、実は分からない(笑)。おそらく走るのを辞めたとき、初めて分かるのではないかと思います」



箱根の1区間約20キロは、長い。短距離から距離を伸ばしていくか、超長距離から落としていくか。アタックの方法はいくつもある。そして、きつかけ。中野の指導やゲキ、あるいはひとつの試合、合宿参加など、練習以外の場でも、ほんの少し背中を押されただけで、選手は変わる。

「一、二年生のころ目立たなくて、このまま卒業していくのかなと思ってた選手が、三年生になっていきなり出てきたこともあります。どこかで勘違いして、勘違いが自信になり、それが本物になる。そんな選手もいます」

チームの目標は、「日本一諦めの悪いチーム」。中野は決して「勝つ」とは言わない。ただ、常に「負けるな」と言う。「負けなければいい」それがやがて、「勝つ」ことにつながる。

「速く走れるか走れないか。一番分かりやすいのはそこだけれども、うちのめさず、負けないは、日ごろの練習の中だけではなく、普段の生活における、どんな小さなことで

もいんです。例えば朝、誰よりも早く起きる、とか。これだけは人に負けない。と誇りを持つものがあればいい」

大学生活は「たった4年間」なのだと言野は言う。長いようで、あっという間に過ぎてしまう。だから、完全燃焼できなくても構わない。やり残したことがあってもいい。ただ、出し惜しみだけはしてほしくない。「彼らの可能性には、まだまだ先がある。競技人生はまだ始まったばかりです。大学はあくまでも礎を作る、下作りの場。箱根も、人生をステップアップするための道具でいいんじゃないかと思うんです。4年間、これだけ熱中できるものがあること自体、素晴らしい。その中で箱根にトライしたり、携わったりした経験は、きっと将来、彼らの自信にも自慢にもなるはずですよ」

インカレ優勝も、日本代表選手の輩出も監督としては嬉しいが、監督冥利に尽きる瞬間は、日々の練習の中にある。

「帝京大学の監督になったとき、このチームで(5000メートル)13分台を出す選手が出るのかなと思っただんです。それが翌春、四年生の一人が13分59秒で走った。素直に嬉しかった。だけど実を言うと、その嬉しさよりも、この子は14分台で走れないだろうと思っただけの選手が14分台を出したときのほうが余計に嬉しかったんです。その選手の能力からしたら、大きな飛躍。人間の可能性を広げてくれたのが、嬉しかった。だから、よく頑張ったね」とちよっとだけ言えただけです(笑)」

私は褒めないと言われているから、と中野。絶対評価ではなく絶対評価を大切に、心の中でこっそり喜び、褒め言葉をつぶやいているそつだ。



今年でコーチ3年目。練習と生活面の両方を見ています。食事を一緒にとりながら、何気ない会話の中から選手たちの本音を聞いたり、選手のモチベーションを上げるための声かけをしたり。選手たちと年齢が近いぶん、彼らと監督をつなぐパイプ役になれるよう心がける毎日です。

もともと教員志望でしたが、いざこの立場で仕事をさせていただいて、「コーチ(coach)とティーチ(teacher)はやはり違うな」と実感しています。コーチは、ただ教える(ティーチ)のが仕事ではない。このチームが箱根で戦えるよう、選手たちをうまく導いてあげる存在。そんなコーチ像が、理想です。

このチームは、チャンスの多いチームです。入学時の力の差で4年間が決まりがちな大学が多い中、どんな選手も途中で諦めることなく、トラックやトレーニングセンターを使い、医科学サポートを受けることができます。そういった環境が全員にチャンスを与え、良い競争心につながる。入学後、徐々に実力をつけてメンバーに入り、箱根を走る選手が何人もいます。

私自身、日本体育大学時代の4年間、陸上部で活動を続け4年時に箱根で優勝を経験できました。でも振り返ってみれば、今まで「速く走る方法」そのものを教わったことはありません。「速く走



# 速くよりも強さを

● コーチ 町田勇樹



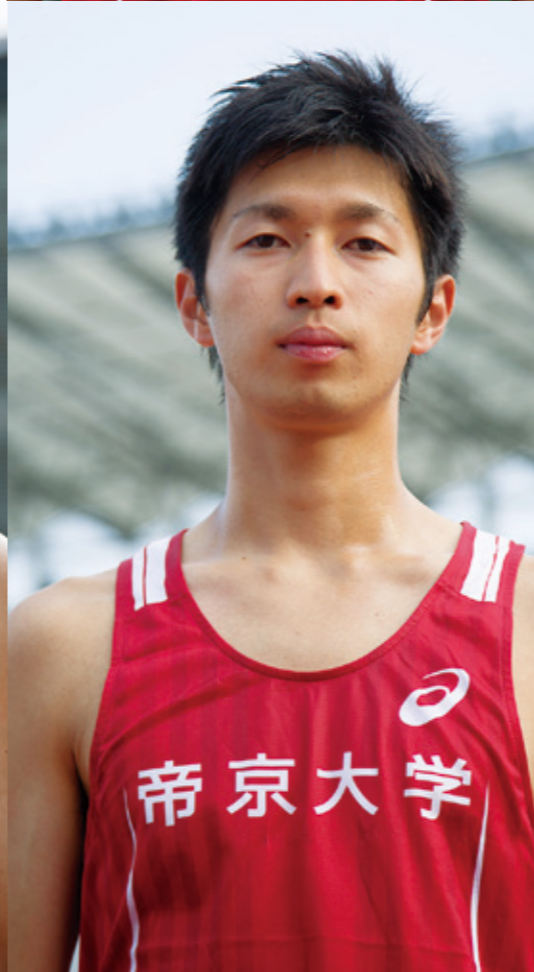
「速さ」よりも「人間」としての強さを学んでいくうち、結果も出るようになります。それを、学生たちに伝えたい。だから私は選手が「どうしたら速くなるか」よりも、彼らが卒業すると

き「帝京大学に来て良かった」と言っていて、社会に出て行ってくれるほうを追求していきたいと思っています。

2、3年前、中野監督が「日本一諦めの悪いチームになる」とおっしゃいました。確かに、他チームから見ると帝京大学はいいやらしいチームです。そういうチームに来たからこそ、私も「世界一諦めの悪いコーチ」になるべく、選手たちと共に日々成長していくつもりです。

取材文 前田 恵





● 駅伝競走部主務 藤原涼が直撃取材

# ノーシードからの上位入賞へ



主務・藤原涼

昨年度に引き続き、主務としてチームを裏から支えている藤原涼。チームの最前線で見えてきた彼だからこそ、チームの強みも弱みも知っている。そんな彼が昨年度の箱根駅伝経験者7人と、昨年度の走りを振り返りながら傾向と対策についてじっくり話し合った。

# 箱根駅伝、逆転入賞の傾向と対策

## 4区 野村雄一

(区間順位19位 タイム58分17秒)

しっかりと自分と向き合って 昨年の借りを返したい



箱根駅伝

では4区を任ざれたけど、まずは感想から。

「普段の走りでごまかしごまかしてやっているから大舞台でそれがすべって出てしまったと監督からも大会後に言われました。今振り返るとそのとおりだったなと自分でも反省しています」

それまでの実績を見ても大舞台で走っていないかったし、記録らしい記録が出

たのも昨年9月の日体大の記録会(29分33秒68) だけだったよな?

「監督には台風の影響で出雲が中止になって良かったと言われました。そのときは足の状態があまり良くなかったから、出雲があったらそこで怪我をしていたんじゃないかって」

箱根のときも足に痛みが出ていたとは見ているだけじゃわからなかったし、それだけ我慢して走っていたってこと?

「怪我は慢性的なもので一年のころからだましました。走っていました。駅伝やっていたら誰でもそうだと思いますし、痛いけど走れるうちはみんな口に出さない。そのさじ加減もみんなわからないと思うので」

運営管理車からも最後はあまり激が飛んでいなかったよな? 「監督も」半分呆れているんだろうなと思

いながら走っていました」

でも普段の練習でもやることはやっているから部員の信頼はある。

「選手同士で見せる顔と監督に見せる顔が違って、監督にはつい、良く見せようとしてしまう。だから調子悪いのも隠しちゃって「大丈夫です」と言ってしまう。箱根以降は自分の状態を正直に話そうと考えるようになっていきました」

最後に今年度の箱根に向けて意気込みを。

「監督からは4区は距離も短いし上級生が走る区間じゃないって言われたので、今年はないのかなって思いますが、借りを返したい気持ちもありますし、主要区間を走りたいたい思いもあるので3区も考えています。そこに向けて頑張ります」

## 5区 竹本紘希

(区間順位13位 タイム1時間22分34秒)

2年連続山登りの経験を活かして今年さらなる上を



2年連続

で山登り(クライマー)だったわけだけど。

「2年目は気持ちの上で余裕が大きかったかなって思います。ここ

スもわかっていたので、どこできつくなつて、どこで抜けるかもイメージできていたので、レース前から行けるかなというの自分の中でもありました」

5区は低体温症などアクシデントが多い区間だけど、山登りの経験者だし安心して見ていられたし、自分の走りはできていたように思う。今年も山登りを予定？

「箱根に出してもらえぬのであれば行きたい気持ちはあるんだけど、高校のときに平坦、特に8区を走りたいと思ってたから今年はそので行きたい気持ちもあります」

公私ともにこれまで下級生のお手本となるよう頑張ってきたし、今年は自分の気持ちを監督に伝えてみていいかもれないね。

「そうですね。今年の上半期は走り全然良いところが見せられていないし、主将の(高橋)裕太に頼ってしまっている面がまだあるから、下半期は走り裕太を支えていけるように、出られる駅伝には全部出て上手くチームをまとめていけるようにしたい」

「以前と比べて練習に対する姿勢が本当に良くなってきているし、副主将として結果が出なければ出ないなりに工夫して練習に取り組んでいる姿はみんなに伝わっていると思う」

「最終学年ということもあって、取り組んでいても結果がついてこなければ悔いが残ると思うので。今までどおり走りに関しては追求しつつ、夏合宿を終えて秋の駅伝シーズンにはこれまで迷惑をかけてきた分、チームに貢献できるように選手になります」

## 6区 君島亮太

(区間順位18位 タイム1時間1分34秒)

### 下りと平坦の違いを 実感できたのは収穫

大きな試合に出るのは全日本学生駅

「そこに遅れてしまっている自分自身に許せない気持ちもあったけど、以前だったらすぐに表情や態度に出していたものを、ぐっぐとこらえて、チームに迷惑もかけた分を取り返そうとは思っています」

## 9区 高橋裕太

(区間順位6位 タイム1時間9分50秒)

### 有言実行。自分の走り 主将としての姿を見せたい



4年間、自分がこの部に在籍した中で一番印象に残った走りが、裕太が走った昨年度の9区だった。

「昨年度の四年生がチームから抜けて、箱根が終わったら自分たちが最上級生になるって考えたときに、やはりそこまで(9区まで)の流れが悪かったから、ここで結果を残さないと新チームに変わったときに良いスタートができないなと思って、走り始めました。ここで自分がやらないと何も収穫のないまま終わるなと」

「どの走り、どの大会を見ても思うけど目標にミスマッチがないのはすごいと思う。昨年の夏合宿でも監督からお前は来年もあるからと言われて、だから今年頑張るんでしょって答えていたね。

「言ったからにはやらなきゃいけないし、言わないからやらないはもったいなく、尚やる姿勢を残し約半年間、主将として見



伝に次いで2回目でした。  
「やっぱり箱根と全日本は全然違って、箱根に向けてチーム一丸

「6区は下りの区間だけど何か対策はしていたの？」

「はい。箱根以前までは接地が踵からつく走り方をしていたんですが、そのままの走り方で下りを走るとブレーキになってしまいうので、フラット走法という踵から接地しないで土踏まずから接地する走り方に変えました。ただ、その走法にはしたんですが、ふくらはぎが5km走った辺りからきつくなってしまうので、そこからは踵から接地する走法に戻ってしまっただけ、もう少しフラットで走れる鍛え方を今年度はしようと思っかけています」

「フラット走法に変えてからは走りも安定感が出てきた気がする。」

「下りと平坦が違うのはわかっていたんですが予想以上に変えなきゃいけないと思えたのが今年の財産になっていますね」

「今年度の箱根を走るなら6区で昨年の借りを返す予定？」

「それも視野に入れていますが、他の区間も走りたい気持ちもあるので五分五分です。せっかく箱根を走るなら最後(10区)を走りたい気持ちもありますし、責任もあるのはわかっていますけど、帝京大学はここ数年間、アンカーが良い結果を出しているの自分もそれに乗っかりたいです」

「せめていきたい。まずは箱根予選だけ他の大学がどう出ているかわからないけど、59分前後で走って総合1位が個人の目標だし、あとは他の選手が60分半から61分の間で来れば予選トップ通過が見えてくる。記録挑戦会では最低でも帝京記録を塗り替えたいし、最高は日本選手権の標準に迫りたい。そして最後は箱根本戦。1区なのか2区なのかかわかりませんが自分は1区を走りたい。2区は例年だと68分フラットくらいで走れば区間3、4番目に入っているから、自分の現時点の目標タイムは68分フラットから20秒までの間です。ただ、自分が走れないときもあるからチームのみんなには頑張ってもらいたいし、1区でも2区でも区間上位で襷を渡せたらいいかなと思っています」

## 10区 堤悠生

(区間順位4位 タイム1時間10分27秒)

### 国内トップの走りに 最後は勝ちたい



10区は最後、順天堂大学との一騎打ちだったね。

「そうですね。9区を走った(高橋)裕太が帝

京記録で来ると聞いて、それに火をつけられました。監督からもシード権は難しそうだから来年のために、自分のために少しでも多くのことを学んでこいと言われていました。自分の目標も区間5番以内、70分30秒以内のタイムを設定

## 7区 内田直斗

(区間順位10位 タイム1時間5分6秒)

### 今年度はチームの主力として 引く張る覚悟で



「昨年度の二年生(現三年生)では唯一の箱根経験者だったね。」

「順位があまり良くない中で襷をもらったので、監督からも前半からガンガン飛ばしていけと言われていたのですが、抜いても抜いてもなかなか先が見えない状況が続いて、後半のアップダウンがある辺りで自分の弱いところが出てしまいました。そこで区間順位も落ちてしまったのは自分としても残念でした」

「箱根が終わって、その後のレースでも安定していたし、全日本予選でもいい位置をキープする走りをしました。」

「今年度は昨年度と違ってチームの主力として戦っていかなくちゃいけないし、まだ主将の高橋裕太さんに頼っている面があるので、そこを払しょくして下の学年でチームを押し上げられるような雰囲気にしていければと思っています」

「帝京大学の世襲として三年生になっから急に台頭してることが多いんだけど、今年練習で工夫している面はある？」

「弱点であるスピード系の練習などは積極的に先頭で引く張ることなど、長い距離などのラストで負けないスピードを身につけるために工夫しています」

「その通り走れたのは良かったと思うし、最後は順天堂大学と一騎打ちで勝ったのも自信に繋がりました」

「本当に70分30秒を設定していたの？それって帝京記録だよな？」

「最初から狙ってました。だいたい1km3分3秒くらい、それだったら自分でも行けると思っていたので、前との差があり前半はかなり突っ込んでいきました。もしかしたら70分切れるんじゃないかと思っただけ、区間記録も行けるかと思って走っていました」

「実際、一度は諦めかけたシード権を狙える位置まで追い上げたよな。」

「箱根は最近の試合では稀なくらいコンディショニング調整も上手くいった試合で、自分のベストの状態に持っていけたと思います」

「今年の上半期は日本学生ハーフマラソンで15位、部内に2人ほどそれより上を走った選手がいたので目立たんかったけど刺激になったのでは？」

「学生ハーフが終わった後に監督と話したんですが、そこで絶対往路で使いたい選手になってやろうと思っていました。(高橋)裕太にも下半期のどこかで絶対勝ってやろうと思っっていますし、せっかく学内でユニバーシアード代表にも選ばれている選手がいるなら、そこを競って勝てるような練習もしていきたいと思います。学生ハーフでも残り3kmまで一線級の選手についていけたし、最後は離されてしまったけど、そこまでやれたということは1区でも通用するんじゃないかと自分では思っています。より自分を高めて、そこで勝負できるようにやっていきたいと思います」

## 8区 阿南堅也

(区間順位14位 タイム1時間7分15秒)

### 集団で抜かせなかったのは 昨年の収穫



「箱根で走る直前に体調を崩したりして心配して見ていたんだけど、実際はどうだったの？」

「せっかく箱根で走れるんだからそんなこと言っていられないと思って走りました。21kmという長い距離で、しかも単独走で突っ込み切れなかったのが反省点です。最初の1kmをゆっくりに走り過ぎてしまっただけ、5km通過などのラップを見ても、自分でヤバイと感じるペースでした。そこで焦って走っても悪くなるので後半盛り返していかうとは思っていたのですが、後ろから5人くらいの集団に追い付かれてしまっただけ。最後までその集団に競り勝って襷を次に渡せたので、自分の中では最低限の走りはできたのかなって思っています」

「今年の上半期は全日本予選でもメンバーから外れてしまったのだけだ。」

「上半期は走り全然良いところが見せられなかったので巻き返すつもりで頑張っています。昨年度の箱根の結果は当然悔しかったし、最後の1年はチームの上級生としての走りを見せようとは思っていますけど、それが空回りして体調を崩したり、走りがおかしくなったりしているの。そこを修正して本番に臨みたいと思います。(高橋)裕太とか(内田)直斗とか結果を残している

## 箱根駅伝出場をめざす 帝京大学駅伝競走部を 応援に行こう!

第92回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会  
箱根駅伝出場をかけて、帝京大学駅伝競走部が予選会に参戦します。この予選会では各校10名以上12名以下の選手がそれぞれ20kmを走り、各校上位10名の合計タイムを競い、上位10校が箱根駅伝の出場権を獲得します。

日時:2015年10月17日(土) 9:35スタート予定  
会場:陸上自衛隊立川駐屯地~立川市街地~国営昭和記念公園  
最寄駅:JR青梅線 西立川駅

詳しくは、第92回箱根駅伝公式サイト  
<http://www.hakone-ekiden.jp/> をご覧ください。

## 主務 藤原涼から 最後にひとこと



「昨年よりもチーム全体の持ちタイムは悪いですが、今年の方が『イケる』と思う感覚は部員みんなが共有できていると思います。チームとしてもまとまりを感じますし、そこに手応えもあります。全日本予選も通って今年はいい流れで来ているので、楽しみの方が強いです。チーム一丸となって昨年以上の結果をめざして走るので、みなさま応援よろしくお願ひします」



**EKIDEN  
CLUB  
2015**



おおいしとも  
1968年生まれ。徳島県出身。専門分野：運動生理学。順天堂大学医学部附属順天堂医院にて臨床運動指導士として勤めた後、現職。2013年から駅伝競走部の測定を開始する。



## 選手の立場で 考えながらサポート 大西朋

(帝京大学スポーツ医学センターサイエンティスト)

「駅伝競走部にはどのような形でサポートしていますか？」  
「私は運動生理学が専門分野で、さまざまな測定を通じて駅伝競走部とかわらせていただいています」  
「具体的にいうと、どのような内容ですか？」

「駅伝競走部の場合は、主に持久力に関する測定を行っています。最大酸素摂取量や乳酸心拍数を測り、その選手がどのくらいのエンジンを持っているのか、どのくらい粘れる力があるのかなど、選手の基礎的なデータを取っています。また合宿のときは、唾液によ

「駅伝競走部にはどのような形でサポートしていますか？」  
「メインは怪我を防止するための選手の対応です。リハビリのメニューを立てたり、怪我の予防でマッサージをしたり、ストレッチをしたり、鍼灸の資格も持っているので治療の部分でもかかわったりしています」  
「駅伝競走部ではどのような怪我に注意すべきでしょうか？」  
「駅伝の場合は慢性障害しかないのがひとつの特徴です。特に長距離の場合は走り過ぎて疲労骨折を起こしたりします。慢性疾患は予防するのが難しく、たとえば走り方で足に負担がかかっているから怪我をするというもの

なので、その動作自体を変えなければ予防にはなりません」  
「帝京大学スポーツ医学センターではメデイカルチーム、サイエンチームとも連携をとっています」  
「そうですね。サイエンチームからは最大酸素摂取量や走り終わった後に乳酸がどれだけ出ているかなどデータをいただいています。記録が伸びるにつれて、取り込める酸素の量も年々増えていくようにも思いますし、記録は伸びているんだけど酸素を取り込めていないという選手もいるので、その場合は動きが良くなっているなど他の要因を見つけてみます。ドクターの方も常に身近にいてくれるので、どこか痛いところがある場合も骨に異常があるの

か、それとも骨に行く前段階で済んでいるのか、すぐにわかります。それと管理栄養士の方で三食コントロールしてくれています。陸上競技は貧血がとて影響を与えるので、その予防をやっていたいと思っています」  
「最後にこれを読んでいる学生たちにメッセージを。」  
「サポートの体制、かわる人間の数の多さは間違いなく他大学より優れています。メデイカル・フィジカル・サイエンス、この3つが大学の内部にあるところは本当にここだけだと思います。この恵まれた環境を当たり前と思わずに、4年間どう使うかが一番大事だと思うので、これからも一緒に考え、一緒に頑張っていきたいと思います！」

## この恵まれた環境を 4年間でどう使うか 五味宏生

(帝京大学スポーツ医学センターフィジカルチーム)



ごみ こうき  
1983年生まれ。日本体育協会公認アスレティックトレーナー。2011年より駅伝競走部のトレーナーとして活動。日本陸連トレーナー部委員として日本代表試合・合宿にも帯同。

「実際に現場で接しているさまざまなスタッフが、同じ部屋で時間を共にしていますので、何かあればすぐに話ができ、情報や意見の交換も密にできています。また、監督のめざすところがどこにあり、それに対して、今やっていること他どのようなのかなどができるのかを考えて、チームに還元できるようにしたいと思っています」  
「今後の活躍に期待しています。」

## STAFF TALK



## 部員はクルー

## 駅伝競走部合宿所紹介

駅伝競走部の合宿所は八王子キャンパスから徒歩5分の場所にあります。競技に集中できるよう環境が整えられた合宿所を紹介します！

各々工夫してプライベート空間を作っています。



部屋



トレーナールーム

トレーナーに治療相談できるトレーナールームです。



寮のガーデニング

部員でスイカを育てています。

廊下



共有スペースは常に掃除を心がけています。



2人1部屋で生活しています。

大浴場



広々とした浴場で、毎日の疲れを癒します。



玄関入ってすぐのところにスローガンを書いて、常に目標を忘れないようにしています！



主要大会までのカウントダウン！

## 駅伝競走部 プチデータ

### ●プチ自慢は？

将棋(藤原)  
プロ野球情報は大体わかる(定井)  
身長割に足が長い(樋口)  
ボウリングのベストスコア205(阿南)  
自称・話しやすさNo.1(吉富)  
空手初段(小手川)  
ジャイアンズのモノマネができる(阿部)  
ピアノ演奏(小林)  
リフティング1000回以上できる(竹下)  
乃木坂46について語れる(幸村)

### ●大会前のゲン担ぎは？

カロリーメイトを必ず食べる(堤)  
最低2回はトイレに行く(加藤)  
馬の走りを見る(林田)  
特別なことはしない(畔上)  
掃除する(安藤)

## STAFF TALK



Profile  
 氏名  
 学部・学科  
 出身校 / 出身地  
 身長 / 体重 / 血液型  
 [1] スローガン「強(したた)かにコウ走」。あなたの「コウ」は何ですか?  
 [2] 2015年の目標は?  
 [3] あなたはどんなタイプのランナー?  
 [4] 自己ベスト (5000m/10000m)

# 2015年 帝京大学駅伝競走部 プレイヤーズリスト

## TEIKYO UNIVERSITY EKIDEN TEAM PLAYERS LIST 2015

**島口翔太郎**  
 Syotarou Shimaguchi



医療技術学部スポーツ医療学科  
 滝川西高 / 北海道東部  
 169cm / 51kg / A型

**絞**  
 [1] ただ走るのではなく、考えて走る。  
 [2] 自己ベスト大幅更新  
 [3] 粘りのある走り

[4] 5000m:14分25秒  
 10000m:29分46秒

**内田直斗**  
 Naoto Uchida



経済学部経済学科  
 市立柏高 / 千葉県流山市  
 176cm / 57kg

**鋼**  
 [1] 鋼のようにどんどんときでも強い存在になりたい  
 [2] 速さだけではなく強さをつかむこと

[3] とにかく粘る  
 [4] 5000m:14分18秒  
 10000m:29分22秒

**吉富一騎**  
 Kazuki Yoshitomi



経済学部経営学科  
 室蘭大谷高 / 北海道札幌市  
 174cm / 58kg / A型

**考**  
 [1] 今までの成功と失敗を考えて次に活かす走り  
 [2] 1年後に「やり切った」と思える年

にする  
 [3] 汚いくらいに泥臭いタイプ  
 [4] 5000m:14分32秒  
 10000m:29分52秒

**藤原涼**  
 Ryo Fujiwara



経済学部経営学科  
 興譲館高 / 広島県福山市  
 180cm / 63kg / O型

**功**  
 [1] 「功を奏する」の功。やったことが成果で報われるように  
 [2] 帝京大学の正月を沸かせる

[3] ダイナミックなストライドでスピードを出す  
 [4] 5000m:15分48秒  
 10000m:分-秒

**瀬戸口文弥**  
 Fumiya Setoguchi



医療技術学部スポーツ医療学科  
 鹿児島商業高 / 鹿児島県枕崎市  
 172cm / 55kg / O型

**広**  
 [1] すべての習慣に対して広い視野(考え)でいる  
 [2] チームに貢献すること

[3] ラスト勝負  
 [4] 5000m:14分20秒  
 10000m:29分39秒

**角本弘樹**  
 Hiroki Kakimoto



法学部法律学科  
 世羅高 / 広島県東広島市  
 179cm / 59kg / O型

**貢**  
 [1] この貢は貢献の貢に使われチームに貢献する  
 [2] 箱根駅伝を笑顔で終えること

[3] 積極的スピードランナー  
 [4] 5000m:14分54秒  
 10000m:31分29秒

三  
 年生



**山崎渉**  
 Wataru Yamazaki



医療技術学部スポーツ医療学科  
 市立松戸高 / 千葉県松戸市  
 172cm / 58kg / A型

**幸**  
 [1] 幸せにする走りをテーマに!  
 [2] 幸走の実現  
 [3] 勢いのあるタイプ

[4] 5000m:14分37秒  
 10000m:29分38秒

**高屋敷光生**  
 Koki Takayashiki



医療技術学部スポーツ医療学科  
 光聖学院高 / 青森県八戸市  
 174cm / 55kg / O型

**光**  
 [1] 自分の名前にも入っている。光のような速さ  
 [2] 箱根駅伝に出る  
 [3] 波が激しい

[4] 5000m:14分29秒  
 10000m:30分50秒

**加藤勇也**  
 Yuya Kato



医療技術学部スポーツ医療学科  
 函館大学付属有斗高 / 北海道函館市  
 163cm / 46kg / A型

**硬**  
 [1] 安定した、確実な走りかモットーだから  
 [2] 箱根駅伝で結果を出す  
 [3] 最近ではラスト

パートが速くなった  
 [4] 5000m:14分14秒  
 10000m:29分23秒

**家永聖矢**  
 Seiya Ienaga



医療技術学部スポーツ医療学科  
 市立柏高 / 千葉県松戸市  
 182cm / 63kg / A型

**耕**  
 [1] 自分を見つめるために、新しく耕すために、箱根駅伝に絶対出場  
 [3] インパクトを残

せる走り  
 [4] 5000m:14分45秒  
 10000m:32分06秒

**山中建人**  
 Kento Yamanka



経済学部経済学科  
 富士東高 / 静岡県富士市  
 182cm / 63kg / A型

**考**  
 [1] 長距離走は頭で考えることが重要な  
 [2] 正月に向けてやれることは積極的に

やる  
 [3] ロードよりはトラックの方が得意  
 [4] 5000m:14分30秒  
 10000m:29分33秒

**馬場勇**  
 Yu Baba



医療技術学部スポーツ医療学科  
 広島国際学院高 / 広島県呉市  
 175cm / 63kg / B型

**康**  
 [1] 健やかに何の障害もなく走りたいから  
 [2] 箱根駅伝メンバーに入る  
 [3] 粘る走り

[4] 5000m:14分40秒  
 10000m:31分40秒

**神谷涼**  
 Ryo Kamiya



経済学部経済学科  
 浜北西高 / 静岡県浜北市  
 170cm / 62kg / A型

**攻**  
 [1] 攻めの走りをするという意識して  
 [2] 箱根駅伝権獲得  
 [3] 市民ランナー

イブ  
 [4] 5000m:分-秒  
 10000m:分-秒

**宇佐美聖也**  
 Seiya Usami



医療技術学部スポーツ医療学科  
 白石高 / 佐賀県唐津市  
 170cm / 61kg / A型

**貢**  
 [1] チームに貢献する走り  
 [2] 箱根駅伝激走で返志し  
 [3] いつでもどこでも全力疾走!!

[4] 5000m:14分42秒  
 10000m:29分46秒

**吉岡賢蔵**  
 Kenzo Yoshioaka



医療技術学部スポーツ医療学科  
 関西大学北陽高 / 大阪府豊中市  
 168cm / 53kg / A型

**興**  
 [1] 見ている興奮してしまふような走り  
 [2] 箱根駅伝出場  
 [3] 派手な走りではないが、力強く走

ることが目標  
 [4] 5000m:14分34秒  
 10000m:30分37秒

**野村雄一**  
 Yuichi Nomura



医療技術学部スポーツ医療学科  
 光明学園相模原高 / 神奈川県座間市  
 167cm / 56kg / O型

**好**  
 [1] 好きこそもの上手なれ。陸上好きでい  
 [2] スピード強化!ラストで負けな!勝

負!!  
 [3] リリリリ粘り型  
 [4] 5000m:14分35秒  
 10000m:29分33秒

**高橋裕太**  
 Yuta Takahashi



医療技術学部スポーツ医療学科  
 武蔵越生高 / 埼玉県川越市  
 171cm / 57kg / O型

**向**  
 [1] 向上心を原動力に走る  
 [2] 箱根駅伝の任された区間で帝京記録を出す

[3] 長い距離を安定して走れる  
 [4] 5000m:14分06秒  
 10000m:29分09秒

**君島亮太**  
 Ryota Kimishima



経済学部経済学科  
 那須拓陽高 / 栃木県大田原市  
 166cm / 50kg / B型

**更**  
 [1] 変更、更生など。自身を変えたい  
 [2] 去年の自分を超越する。有終の美を飾る

[3] 最後まで諦めない  
 [4] 5000m:14分30秒  
 10000m:29分21秒

四  
 年生



**原由樹人**  
 Yukio Hara



医療技術学部スポーツ医療学科  
 東京学館新潟高 / 新潟県中魚沼郡  
 164cm / 49kg / A型

**考**  
 [1] 常に考えて走る  
 [2] 結果を残す  
 [3] ボーカークフェイス

[4] 5000m:14分38秒  
 10000m:29分45秒

**竹本紘希**  
 Hiroki Takemoto



経済学部経済学科  
 一関学院高 / 岩手県盛岡市  
 171cm / 52kg / A型

**貢**  
 [1] チームに貢献する  
 [2] 先頭で引っ張れる選手になる  
 [3] きつなくても顔に出ないタイプ

[4] 5000m:14分27秒  
 10000m:29分19秒

**定井俊樹**  
 Toshiki Sadai



医療技術学部スポーツ医療学科  
 清風高 / 奈良県香芝市  
 176cm / 60kg / A型

**抗**  
 [1] 今年最後の1年間もがくという意味で  
 [2] 最後まで諦めない

[3] 一定で走る  
 [4] 5000m:14分42秒  
 10000m:30分06秒

**阿南堅也**  
 Kenya Aana



医療技術学部スポーツ医療学科  
 大分東明高 / 大分県豊後大野市  
 173cm / 52kg / O型

**昂**  
 [1] 上昇する!下がっていくことはありえない!  
 [2] 大学生生活の集大成。悔いのないよ

う結果を出す  
 [3] 良いとき悪いときの差は激しいが粘り強い  
 [4] 5000m:14分21秒  
 10000m:29分31秒

**樋口史朗**  
 Shiro Higuchi



医療技術学部スポーツ医療学科  
 加藤学園高 / 静岡県函南町  
 167cm / 52kg / AB型

**攻**  
 [1] 攻める走りが目標だから  
 [2] 大きな人間になる  
 [3] どちらかといえ

ばスタミナ型  
 [4] 5000m:14分34秒  
 10000m:29分40秒

**堤悠生**  
 Yusei Tsutsumi



医療技術学部スポーツ医療学科  
 西条農業高 / 広島県東広島市  
 175cm / 61kg / A型

**向**  
 [1] 常に向上心を持って高みへ近づきたい  
 [2] 10000m28分台  
 [3] 一人でも押せる

[4] 5000m:14分24秒  
 10000m:29分12秒

**高橋雅人**  
 Masato Takahashi



医療技術学部スポーツ医療学科  
 東海大学山形高 / 山形県村山市  
 173cm / 59kg / B型

**孝**  
 [1] 親孝行できる走りが張っていききたい  
 [2] 尽くす  
 [3] 爆発力はないけどそこそこ安定して

いる  
 [4] 5000m:14分36秒  
 10000m:30分09秒

**岩間俊友**  
 Shunsuke Iwama



医療技術学部スポーツ医療学科  
 西武台千葉高 / 千葉県柏市  
 168cm / 48kg / A型

**虹**  
 [1] その一瞬のために頑張りたい  
 [2] チームに貢献すること  
 [3] 粘り強く走る

[4] 5000m:14分37秒  
 10000m:29分56秒



**林田真幸**  
Masayuki Hayashida

経済学部経済学科  
鎮西高 / 熊本県八代市  
172cm / 56kg / O型

**輝**

[1] 輝  
輝くような目立走りをする  
[2] 2015年が終わるときにやりきったと思うこと

[3] 留学生のようなストライドで走るタイプ  
[4] 5000m:14分38秒  
10000m:30分30秒

**小手川智紀**  
Tomonori Kotegawa

医療技術学部スポーツ医療学科  
純真高 / 福岡県福岡市  
170cm / 56kg / A型

**高**

[1] 高  
よりレベルの高い走りをする  
[2] 周りを笑顔にする  
[3] コツコツ型

[4] 5000m:14分41秒  
10000m:30分54秒

**細井優太**  
Yuta Hosoi

医療技術学部スポーツ医療学科  
豊川工業高 / 愛知県岡崎市  
168cm / 57kg / B型

**貢**

[1] 貢  
チームの一員として貢献する  
[2] 周りを笑顔にする  
[3] スプリンター

[4] 5000m:15分18秒  
10000m:-分秒

**渡辺貴裕**  
Takahiro Watanabe

医療技術学部スポーツ医療学科  
倉敷高 / 広島県三原市  
171cm / 54kg / A型

**攻**

[1] 攻  
逃げたくないから  
[2] 区間賞  
[3] 日によって変わる

[4] 5000m:14分22秒  
10000m:29分39秒

**阿部有希**  
Yuki Abe

医療技術学部スポーツ医療学科  
東京農業大学第二高 / 群馬県玉村町  
168cm / 58kg / O型

**好**

[1] 好  
肉で走るムキムキタイプ  
[4] 5000m:14分53秒  
10000m:-分秒

[2] 練習を継続し自己ベスト更新  
[3] 鍛え抜かれた筋

**幸崎一聖**  
Issai Kouzaki

医療技術学部スポーツ医療学科  
清風高 / 大阪府豊中市  
170cm / 54kg / A型

**攻**

[1] 攻  
積極的に攻めるレースがしたい  
[2] 大一番に強い選手になる  
[3] 粘って粘って

スト400mのスパート  
[4] 5000m:14分36秒  
10000m:-分秒

**高村敦史**  
Atsushi Takamura

教育学部教育文化学科  
武蔵越生高 / 埼玉県坂戸市  
162cm / 48kg / B型

**硬**

[1] 硬  
自分の目標に向かって気持ちよく走るようにする  
[2] メンバー争いに絡む

[3] ピッチ走法。後半の粘り  
[4] 5000m:14分54秒  
10000m:-分秒

**保倉聡**  
Satoshi Hokura

医療技術学部スポーツ医療学科  
佐久長型高 / 長野県長野市  
173cm / 62kg / A型

**考**

[1] 考  
大学は自己責任の場なので自分で考えるのが大切  
[2] 自己ベストを更新しチームに貢献する

るのが目標  
[3] ラストパートには自信のあるタイプ  
[4] 5000m:14分38秒  
10000m:-分秒

**安藤聡**  
Satoshi Ando

医療技術学部スポーツ医療学科  
大分東明高 / 大分県豊後高田市  
177cm / 57kg / A型

**攻**

[1] 攻  
攻撃的、攻めの走り  
[2] メンバーに選ばれる  
[3] 粘る

[4] 5000m:14分34秒  
10000m:30分34秒

**佐藤諒太**  
Ryota Sato

医療技術学部スポーツ医療学科  
柏田体高 / 千葉県我孫子市  
172cm / 57kg / O型

**高**

[1] 高  
常に高い意識をもつ  
[2] 決めたことはやり通し、継続する

[3] 粘り強く、負けず嫌い、そしてクール  
[4] 5000m:14分26秒  
10000m:31分40秒

**水梨百哉**  
Momoya Mizunashi

医療技術学部スポーツ医療学科  
長野日大高 / 長野県上水内郡  
172cm / 57kg / AB型

**交**

[1] 交  
みんなで意見の交換などを行う  
[2] 5000mと1500mで大幅ベスト更新  
[3] スピードタイプ

[4] 5000m:15分03秒  
10000m:-分秒



**井手優太**  
Yuta Ide

医療技術学部スポーツ医療学科  
鎮西学院高 / 長崎県諫早市  
175cm / 58kg / A型

**考**

[1] 考  
何のために帝京大学に来たのかよく考える  
[2] Aチームへの昇格、箱根駅伝メンバー入り

[3] スピードタイプ  
[4] 5000m:14分52秒  
10000m:31分29秒

**小林誠**  
Makoto Kobayashi

医療技術学部スポーツ医療学科  
中之条高 / 群馬県吾妻郡  
169cm / 54kg / A型

**康**

[1] 康  
病気や故障をしないため  
[2] 自己ベスト更新  
[3] 前傾姿勢で我

慢強いタイプ  
[4] 5000m:14分46秒  
10000m:-分秒

**竹下凱**  
Kai Takeshita

医療技術学部スポーツ医療学科  
常葉学園高 / 静岡県静岡市  
167cm / 52kg / A型

**考**

[1] 考  
自分の考えを持って走れるようになるため  
[2] 箱根駅伝でメンバーに入って走る

[3] 負けず嫌いを活かした粘り強い走り  
[4] 5000m:14分23秒  
10000m:29分49秒

**細瀨大雅**  
Taiga Hosobuchi

医療技術学部スポーツ医療学科  
前橋育英高 / 群馬県伊勢崎市  
170cm / 53kg / A型

**好**

[1] 好  
大勢から好まれ、応援したくなる走りをする  
[2] 多面でチームを支える存在になる

[3] ラストに自信があるスピードランナー  
[4] 5000m:14分38秒  
10000m:30分41秒

**井田湧希**  
Yuki Iida

医療技術学部スポーツ医療学科  
西脇工業高 / 京都府京丹後市  
177cm / 60kg / B型

**鋼**

[1] 鋼  
いつでもどこでも100%を出せるように  
[2] 箱根駅伝を走る  
[3] ボーカーフェイス

で走る。先行逃げ切り  
[4] 5000m:14分45秒  
10000m:-分秒

**田中祐次**  
Yuji Tanaka

医療技術学部スポーツ医療学科  
進学館高 / 石川県小松市  
175cm / 58kg / O型

**好**

[1] 好  
結果を出しつつ走りを楽しめる  
[2] 走り目立つ  
[3] パワータイプ

[4] 5000m:14分33秒  
10000m:30分11秒

**幸村亮太**  
Ryota Yukimura

医療技術学部スポーツ医療学科  
九州学院高 / 熊本県山鹿市  
173cm / 62kg / A型

**高**

[1] 高  
常に目標を高く持って走りたいから  
[2] 故障を減らし練習を継続させる  
[3] スピードタイプ

[4] 5000m:14分52秒  
10000m:-分秒

**秋間正輝**  
Masaki Akima

医療技術学部スポーツ医療学科  
前橋育英高 / 群馬県前橋市  
165cm / 55kg / O型

**幸**

[1] 幸  
走れていることを幸せに思うから  
[2] 日本インカレ3000mSC優勝  
[3] 後半からの追い

上げ  
[4] 5000m:14分36秒  
10000m:-分秒

**大塚瑞季**  
Mizuki Otsuka

医療技術学部スポーツ医療学科  
白鷗大学足利高 / 群馬県太田市  
175cm / 57kg / A型

**考**

[1] 考  
ただ走るだけでなく頭を使って走りたい  
[2] レース、練習共に安定した走りをする

[3] ボーカーフェイスで走るタイプ  
[4] 5000m:14分30秒  
10000m:31分14秒

**齋藤慎**  
Shin Saito

医療技術学部スポーツ医療学科  
伊勢崎商業高 / 群馬県伊勢崎市  
169cm / 54kg / A型

**攻**

[1] 攻  
持ち味のスピードを活かして攻めたいから  
[2] 全種目で自己ベストを更新する

[3] スピード重視系  
[4] 5000m:14分32秒  
10000m:-分秒

**長山奨**  
Sho Nagayama

医療技術学部スポーツ医療学科  
那須拓陽高 / 栃木県那須郡  
180cm / 59kg / A型

**考**

[1] 考  
選手の走りを見ながら走る  
[2] 選手から信頼されるトレーナーになる  
[3] ストライドを活か

した走り  
[4] 5000m:15分09秒  
10000m:32分37秒

**沖成仁**  
Naruhito Oki

医療技術学部スポーツ医療学科  
八戸学院光星高 / 青森県むつ市  
174cm / 58kg / AB型

**攻**

[1] 攻  
自分から積極的に攻める走り  
[2] 箱根駅伝メンバーに入って5区を走る

[3] 後半からの勝負強さ  
[4] 5000m:14分52秒  
10000m:-分秒

**長瀬凌太**  
Ryota Nagase

医療技術学部スポーツ医療学科  
鎮西学院高 / 長崎県対馬市  
167cm / 55kg / A型

**幸**

[1] 幸  
生きて幸せ、走れ  
[2] 「真剣」の意味を理解した人間になる

[3] ラストパートで一氣に力を発揮する  
[4] 5000m:14分32秒  
10000m:30分52秒

**吉田将人**  
Masato Yoshida

医療技術学部スポーツ医療学科  
鯉江高 / 福井県福井市  
175cm / 56kg / A型

**鋼**

[1] 鋼  
コツコツ積み上げ、磨き上げた強さ  
[2] ハーフ65分。精神的成長  
[3] 暑さや寒さ、雨

にも強い  
[4] 5000m:14分47秒  
10000m:31分52秒

**畔上和弥**  
Kazuya Azegami

医療技術学部スポーツ医療学科  
関根学園高 / 新潟県妙高市  
170cm / 53kg / AB型

**考**

[1] 考  
何ごとを考えて冷静な走りをしていきたい  
[2] 怪我をしないでチームの主力になる  
[3] 淡々と長い距離

を走れる  
[4] 5000m:14分25秒  
10000m:29分43秒

**橘高健一**  
Kenichi Kitaka

医療技術学部スポーツ医療学科  
興譲館高 / 広島県福山市  
167cm / 54kg / A型

**攻**

[1] 攻  
積極的に走りたから  
[2] 29分を出す  
[3] 粘り強く走る

[4] 5000m:14分46秒  
10000m:30分58秒

**佐藤凌平**  
Ryohhei Sato

教育学部教育文化学科  
住吉高 / 神奈川県川崎市  
173cm / 59kg / A型

**好**

[1] 好  
誰からも好かれる走りができる選手になる  
[2] 泥臭い練習を徹底して14分40秒台

の自己新  
[3] リズムとピッチが安定しているバランス型  
[4] 5000m:15分33秒  
10000m:32分53秒

**新関友基**  
Yuki Niizeki

医療技術学部スポーツ医療学科  
札幌山の手高 / 北海道豊富野町  
171cm / 55kg / A型

**好**

[1] 好  
機会を捉えて成功させていく意味を込めて  
[2] 1年目から29分台で10000m走る

[3] ピッチ走法で付いていくタイプ  
[4] 5000m:14分35秒  
10000m:30分52秒



## EKIDEN CLUB TOPICS 1



# 駅伝競走部の練習場が 2015年9月、 新しくなります!!

八王子キャンパスのすぐ近くに新設される駅伝競走部の新練習場。全天候型の陸上競技場で、400m×6レーンがとれる広さを誇ります。周囲にはロード舗装コースも併設され、今まで以上に集中できる環境が整います。完成予定は、2015年9月となっています。

- 名称: (仮称) 帝京大学八王子キャンパス陸上競技場
- [1] 2015年9月完成予定
  - [2] 全天候型陸上競技場/1周400m(走路ゴム:スーパーX仕様)スーパーXは、アスリートの視点で、最高の競技性と安全性を実現し、世界中で4,000カ所以上のトラックに採用され、世界各国で高い評価を得ています。
  - [3] 周囲には、ロード舗装コースを併設



\*完成予想図はイメージであり、仕様は多少の変更もあります。



## EKIDEN CLUB TOPICS 2



# 高橋裕太主将が『第28回 ユニバーシアード競技大会』で 3位に入賞しました!

7月12日、主将の高橋裕太が韓国(光州)にて開催された『第28回ユニバーシアード競技大会』に出場し、ハーフマラソン個人で3位に入賞しました。また団体では、高橋含む日本チームが第1位の成績を収めました。

記録: 1時間05分29秒  
結果: 男子ハーフマラソン個人3位  
男子ハーフマラソン団体1位



## EKIDEN CLUB TOPICS 3



# 板垣辰矢選手(OB)が『IAU100キロワールド チャンピオンシップ』の日本代表で出場!

6月28日に行われた『第30回サロマ湖100kmウルトラマラソン』の「100K登録男子」部門にて、本学OBの板垣辰矢選手が3位(6時間40分33秒)の成績を収め、9月12日に開催される『IAU100キロワールドチャンピオンシップ』に出場を決めました。

●板垣辰矢選手コメント「初出場となる大会ですので、出場するからにはメダルをめざしてがんばります!」



## ス タ ッ フ

- コーチ  
村上泰弘  
(帝京大学職員)
- コーチ  
長谷孝治  
(都立足立東高等学校教諭)
- コーチ  
町田勇樹  
(帝京大学駅伝競走部)
- トレーナー  
高岡尚司  
(エフエイト Bodywork Lab)



平本 駿 椰  
Shunya Hiramoto

医療技術学部スポーツ医療学科  
那須拓陽高/栃木県那須塩原市  
175cm/57kg/A型

- [1] 辛  
辛いときこそ粘る走り  
をめざすから  
[2] 29分台を出す  
[3] スピード



仁平 翔  
Kaeru Ninomiya

医療技術学部スポーツ医療学科  
佐野日大高/栃木県真岡市  
175cm/57kg/B型

- [1] 好  
好きじゃなきゃ強くな  
らないと思う  
[2] 自己ベスト5回  
出す  
[3] 炎タイプ



横井 裕 仁  
Hironito Yokoi

医療技術学部スポーツ医療学科  
津島高/愛知県津島市  
157cm/47kg/A型

- [1] 攻  
積極的な走りでした  
いから  
[2] 10000m29分  
台!  
[3] 後半からペース



濱川 駿  
Shun Hamakawa

医療技術学部スポーツ医療学科  
米子松蔭高/鳥取県北栄町  
174cm/52kg/A型

- [1] 高  
高い意識、高いレベ  
ルの走りかしたい  
[2] 1年間故障しない  
こと  
[3] スタミナ系



三年時にケガで挫折  
最後の箱根に懸けた想い

長崎北陽台高校時代は、インターハイ出場が目標。そのために、陸上は楽しみながらも一生懸命練習してきました。ただ、進学校でしたので勉強優先。大学進学も、一般受験という手段しか考えていませんでした。だから、高校時代は箱根駅伝にも興味がなく、一度も見たことがなかったんです。ところがインターハイが終わって、「さあ、受験勉強しなくちゃな」というころ、当時の帝京大学・喜多秀喜監督から熱心に声を掛けていただきました。「箱根を走りたい」という思いはそこから生まれたので、今もなにか運命的なものを感じています。

入学時は体力もなく、練習についていくのがやっと。大学に入って初めて本格的な合宿にも参加し、そこでしっかりと基礎を作りました。高校時代はそのあたりもまだ、手探りだったと思います。しかも高校のころは長距離を走る選手が3人ぐらいの中でやっていましたから、部内の競争はなにもに等しかった。それが大学では同期だろ

大学時代の『雑草魂』に支えられ

# 馬場圭太

今もコツコツ、自己ベストを伸ばしています

(2008年度卒・HONDA 陸上競技部所属)  
取材文：前田 恵

うと先輩だろうと、勝たなければ箱根の予選会メンバー入り以前に、他の大会にも出られません。僕の場合、初めてチーム内での自分の順位を意識したのが、大学になってからでした。そこで、競争意識も芽生えたのかなと思います。ふだんは仲よく、楽しく部活をしながらも、練習から絶対勝たなければならぬ。それは僕に限らず、皆が、そうだったと思います。

入学した2005年は、箱根の連続出場が途絶えた年。二年時には、僕一人だけ学連選抜(9区)で箱根を走りました。3年目、チームとしても3年ぶりに予選会を突破。しかも2位通過で、「よし、箱根を戦うぞ!」と皆の士気も大いに上がりました。僕自身、予選会を快走。おそらく大学時代の4年間のうちで、一番力のあったときではないかと思えます。ところが箱根の直前、12月の伊豆大島合宿でハムストリングスの肉離れ。自分自身、うぬぼれかもしれませんが、チームを箱根に導いたという自負がありました。それだけに余計悔しくて…本当に大きな挫折を味わいました。

そこで箱根に出られなければ、次はまた1年後。今、箱根に出られないなら、何をしても…という気持ちになって、初めはリハビリもろくにできませんでした。悔しくて、そのうち腐って、立ち直るまで時間がかりました。中野監督にもチームにも、かなり迷惑をかけたと思います。その間、チームは箱根で頑張っていてリード権を取ってくれました。予選会なしで箱根に出られるのは、大きなアドバンテージです。嬉し

と同時に、自分は本当に自己中心的だったな、と反省しました。三年生の僕がチームの足を引っ張ったのに、最後の箱根をめざしていた四年生の先輩方が中心になって、その危機を頑張ってくれて、リード権という置き土産まで残してくださったわけですから。

最後の1年に懸ける想いはありました。自分たちのチームで襷をつなぐのが、本当の箱根だと思っていました。僕にとつて、それは四年生のときが最初で最後でしたから、頑張ったというよりはかなり気合が入っていました。僕が4区を走って、5区が同学年の酒井将規(現・九電工主将)。苦案を共にした同期の選手に襷を渡せたのは、何より嬉しかったですね。

振り返れば、帝京大学での4年間、箱根でした。箱根に出るためにはどうしたらいいか、そればかり常に考えていました。当時の駅伝競走部は『雑草魂』と言われていて、まさに僕らはその心境でやっていました。他の大学を見渡せば、高校時代から注目されてきた日の丸級のエリートばかり。僕らのチームにはそんな選手が誰一人おらず、皆「そういう選手に勝つぞ」というハンガリー精神みたいなものが支えになっていたと思います。だから予選会を控えた練習のとき、離れそうな選手がいたら、「そんなんじゃ予選会に落ちるぞ!」と言って皆でケツを叩いていましたよ(笑)。実際、余裕のある選手が離れそうな選手の背中をバンバン叩いて、集団に着かせるんです。



馬場が「AKUの強いメンバーの集まりでした」と振り返る同期の仲間たち。その中には現在は九電工で活躍する酒井将規もいた。



出雲全日本大学選抜駅伝を走ったのは2008年(大学四年)のときになる。1区を走り区間8位、チームは総合9位の成績を残した。



馬場が箱根で帝京大学の襷をつないだのは2009年の第85回大会だけ。4区を走り区間2位の活躍だった。





## 終わりのない Start Line

中野孝行

1年に1日だけ、不思議な気分になる日がある。

それが1月3日だ。

これを読んだ皆さんは「シード権が獲れたか、獲れなかったか」と勘繰るかも知れない。たしかに、大手町読売新聞社前のゴールに近づいていくシーンであることは間違いない。

それは小さな帆船がマストをぼろぼろにしながらも、嵐に打たれながら大海原を旅し、必死に港（ゴール）に向かっていく瞬間とも言えようか。航海に出た直後は真新しく、きれいなマストであった、その帆船は、裂けたり、汚れたりしながら、最終港に到着するが、私にはこれが決してかっこ悪くは感じない。

大海は穏やかな風あり、大波あり、飛び魚やイルカが友達のように遊んでくれたり、はたまた、鯨や鯨に驚かされたり、また、クルーが体調を崩して熱を出したりさまざまなシーンを見てきた。このマストを、私はぼろぼろではあるが「かっこいいじゃん」とさえ思う。

私も日頃は選手の顔を見ながらトレーニングをしているが、箱根駅伝の2日間だけは私が乗る運営管理車は選手の後ろを走るため、顔色をうかがうことが許されない。

ここ数年、10区は距離が長くなるなど、箱根の勝負所でもあり、上級生を起用することが多い。

「最後だから四年生にまとめてもらおう」とか「キャプテンが最後は締めろ」とか、考えはさまざまではあるが、私はその理由だけで起用することはまずしない。もちろん実力あつての起用でなきゃダメである。

後ろ姿しか見ることができない10時間あまり、普段は雷を落としたり、なだめたりするのが私の仕事ではあるが、この2日間は背中をじっとして見ているだけなのでストレスが溜まる。

「男は黙って背中を語れ」がまさにその2日間であり、いつものような声をかけずに、じれったい中助手席のシートベルトを正すが、この背中がまさに「かっこいいじゃん」と誇らしくも感じる。

先日、コーチにも、「これは私だけが許された最高の特権だよ」と話した。

鍛え上げられた体軀は一切の無駄なものを削ぎ落とし、軽量のF1カーではなくラリーカーのようにも見える。

そんな、後ろ姿しか見えないと言っている私だが、実は一度だけ顔を見に行くことがある。それはルール上、許された行為の「ペットボトルでの給水」のときだ。

それも1年に一度だけの限定でもあり、場

所は210kmあまり走破してきた、10区の残り5km地点（御成門）と決めている。

運営管理車で先行して待受けるのだが、接戦あり、交通渋滞ありでタイミングが難しい。

運よく先行し、走者を200m位先から待受けるのだが、近づくごとに選手の顔の輪郭がはっきりしてくる。

顔をくしゃくしゃにしながら必死の形相でやってくるが、鬼気（危機）迫る表情でほとんどの選手が「普段こんな顔をしたことがあったっけ？見たことないな」と、これもまさに「かっこいいじゃん」と感じる。

人生を語るときは顔の皺の数だったり、年輪に例えられたり、手の汚れが度々引き合いに出されるが、塩をふいたランナーの顔はそれに似たものがある。

そして箱根駅伝の終焉が近づくにつれ、学生たちとの出会いが思い出される。

地方の高校に行き、田舎くさい生徒だったり、大会で好成绩を取めた後であったり、次点で関東大会に行けなかったり、怪我で成績が出せなかったりと人それぞれである。

よく学生に「この中野とあったのが運（命）の尽きなのか、縁だったのか、それを決めるのは君自身だ！」と話す。

辛い4年間だったのか、楽しかった4年間だったのかはこれだけでは決められないと思っている。

もしかしたら永遠にわからないことかも知れない。

私自身も彼らの監督でもあり先生でもあるが箱根駅伝の先輩でもある。いまだにその結論が出せずにいるし、永遠に終わりのないゴールをめざしている。

スポーツには結果、結論がある。

人生には結果を出せない……出さない……もしかしたら出さなくてもいいのかも知れない。

箱根駅伝が開催された理由のひとつにアメリカを走って横断しよう、そんな壮大な思いを成し遂げるための学生の訓練だとも言われている。

先人は当時、海外に行くのも大変なときにそんな思いで開催したがそんなことはちっぽけなことかも知れない。

実はもっと先の、もっと大きなことに学生は挑戦しているのかも知れない。

そんな見えなくて終わりのない何かを探しに再び、小さな帆船のマストを大きく広げ大海原の航海に出ようと思う。

（監督・中野孝行）

大学で燃え尽きなかったから7年も現役を続けている

毎年シード権を取って出場する箱根の常連校と違い、僕は4年間波乱万丈。それもまた、僕にとっては貴重な経験になりました。卒業後、ホンダに入ってから同じです。できることなら1年目からスパーンとトップ選手になりたかったけど（笑）、僕は本当にコッソツ型。一年一年、コッソツやってくる、実業団4年目から日本選手権という大きな大会に毎年出場できるようにになりました。結局大学のときから自分のスタンスはあまり変わらず、少しずつ上の設定をクリアし、毎年自己ベストを地道に更新していく。大学時代、諦めなくなることもあったけど、諦めずに箱根をめざせたのと一緒で、今も諦めずにコッソツできてい

る。中野監督の指導のおかげで、大学で燃え尽きなかったことが良かったのかな、と思うんです。箱根という存在があまりに大きすぎて、他の大学の同期にも年下にも、既に引退してしまつた選手が何人もいます。でも僕は箱根にも実質1回しか出ておらず、大学時代にやり残したことがあつた。それが実業団でのモチベーションに転じたのが、幸いしたのではないのでしょうか。

僕が長距離を続けているのは、やはり駅伝を走りたいから。ホンダを選んだのも、このチームがまだニューイヤーマスターで優勝したことがなかったためです。箱根では実現できなかった優勝という夢を、今度実業団で叶えたい。そして、自分がどこまでできるのか。実業団に来てやっつと、大学時代まったく歯が立たなかった選手と同じレースに出て、しかも、たまには勝てる

ようになった。自分の限界がどこなのかはわかりませんが、これからもどんどん強い選手に勝ち、いずれは日の丸まで背負えたいいな、と思つています。

帝京大学は、目的意識があれば本当にお勧めできる大学です。環境も整つていて、あれだけ自主性を重んじながらも個々の持てる力を伸ばしてくれる大学は他にはありません。そして箱根は、大学生ランナーにとって本当に特別な大会。僕はこの年になつても、まだ箱根、出たいですよ。そんな特別なものがあるからには、4年間、そこをめざして走ってほしい。箱根を走ると、世界が変わります。僕も自分がここまで現役を続け、しかも実業団のキャプテンになるなんて、思いもよらなかったから。

### INTERVIEW ● KEITA BABA

#### PROFILE

ばば けいた  
1986年生まれ。長崎県出身。長崎北陽台高校卒。HONDA陸上競技部所属。ニューイヤーマスターに31年連続で出場を続ける名門クラブの主将を務める。今年5月に埼玉県熊谷市内で行われた第57回東日本実業団陸上競技選手権の1500m決勝で3分54秒21を記録し、自己最高記録を更新。6月に行われた日本選手権10000m決勝で第15位（29分22秒71）。30代突入を前にさらなる進化を続けている。







仲間と共に、スポーツの力で多くの人に感動を…  
私たちは帝京大学です。

「自分流」で学べる10学部

- 【医学部】医学科 【薬学部】薬学科
- 【経済学部】経済学科 / 地域経済学科 / 経営学科 / 観光経営学科
- 【法学部】法律学科 【文学部】日本文学 / 史学科 / 社会学科 / 心理学科
- 【外国語学部】外国語学科 【教育学部】教育文化学科 / 初等教育学科
- 【理工学部】機械・精密システム工学科 / 航空宇宙工学科 / 情報電子工学科
- バイオサイエンス学科 / 情報科学科 (通信教育課程)
- 【医療技術学部】視能矯正学科 / 看護学科 / 診療放射線学科 / 臨床検査学科 / スポーツ医療学科 / 柔道整復学科
- 【福岡医療技術学部】理学療法学科 / 作業療法学科 / 看護学科 / 診療放射線学科 / 医療技術学科

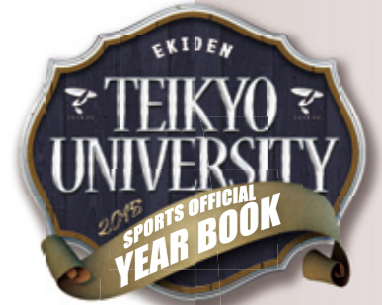
全国に広がる5つのキャンパス

- 八王子キャンパス / 板橋キャンパス / 宇都宮キャンパス / 福岡キャンパス / 霞ヶ関キャンパス

帝京大学駅伝競走部

イヤーブック2015

2015年8月発行



FROM EDITOR

巻頭の箱根特集など今年もイヤーブック制作に惜しみない協力をしてくれた主務の藤原涼くん。このたび某実業団クラブにスタッフとして就職が決まりました。制作上の連絡に対しても素直に、そして速やかに対応してくれた彼は、きっと社会に出てからも多くの人々に貢献することでしょう。選手としてだけでなく裏方でも駅伝に携われることを証明した彼に続く部員が、今後も育っていくことをここに願います。(永)



- 編集  
永田遼太郎  
片山佐知子 (スリーライト)
- 撮影  
川本聖哉  
志賀由佳
- デザイン  
伊藤博樹 (イトウワークス)
- 進行管理  
滝川誠人 (スリーライト)
- 印刷  
スリーライト
- 写真提供 [p29]  
帝京スポーツ新聞部  
小野寺惇  
西川哲弥
- 発行  
帝京大学本部 広報課  
東京都板橋区加賀2-11-1  
<http://www.teikyo-u.ac.jp>  
本誌掲載記事、写真等の無断複製・複製・転載を禁じます。  
© TEIKYO UNIVERSITY 2015



帝京大学 駅伝競走部公式ホームページ

最新NEWSをはじめ、試合情報、部員紹介や動画まで、さまざまな情報をお伝えしていきます。

<http://ekiden.teikyouuniv.jp/>

帝京大学 駅伝競走部

# HACHIOJI CAMPUS RENEWAL

## 八王子キャンパスリニューアル

最新の施設、設備で学生をバックアップ。  
八王子キャンパス新校舎棟「SORATIO SQUARE」誕生!

帝京大学八王子キャンパスでは、キャンパスリニューアルの一環として、地下2階、地上22階の地震構造を採り入れた新校舎棟を建設中です(I期完了)。新校舎棟「SORATIO SQUARE」は、太陽光発電装置の導入や地熱利用等、省エネに配慮しながら、多摩丘陵の豊かな景観や地形と一体的にデザインすることにより、帝京大学の教育理念や伝統ある学問の積み重ねを表現しています。

### SORATIO SQUARE

ソラティオ スクエア

#### 宙 × 理性 = 可能性

SORA RATIO

SORATIOとは、果てしない大空、宇宙のように無限に広がる空間を表す「SORA(宙)」と、ラテン語で「理性」を意味する「RATIO」を組み合わせた造語で、帝京大学の学生一人ひとりの可能性が無限に広がっていく様を表現しています。また、高層部・低層部から成る建物群をSQUARE(広場)として捉え、「SORATIO SQUARE(ソラティオ スクエア)」と名付けました。



エントランスホール

センタープラザ

演習室

博物館

500人ホール

アカデミックラウンジ

**I期** 2015年5月完成 (9月使用開始予定)  
一般教室のほか、音楽室や模擬授業室等の各種実習室やアクティブラーニング教室を設置します。一般教室では、教員と学生の一体感を持った授業の展開のため、少人数制の教室を90室程度設置します。また、グループ学習室を備えた、常設PC設置空間を作り、学生の主体的学びを支えます。さらに、女性専用ラウンジや地下1階には大学博物館を開館します。

**II期** 2017年11月完成予定 (2018年4月使用開始予定)  
一般教室のほか、1000名を収容できる大ホール、席数1000以上の学生食堂を設置します。観覧席を備えたアリーナ棟は、バスケットボールコート、バレーボールコート等を設置する予定です。